

§ 準備のいないワークショップ §

2-1 回転寿司のシナリオ

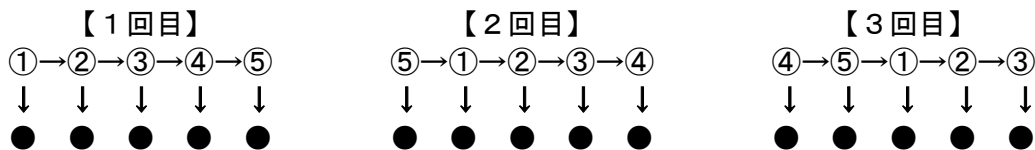
ワークショップリーダー：W.L.

解説：*

W.L.：「これから皆様に回転寿司を体験していただきます。回転寿司とは、話し手と聞き手の座席が順に動いていくので、あたかもレーンにのってクルクル動いていくお寿司に見えるため、その名がつけられました。

以下のように座り、W.L.の合図で→の方向に移動する。

○…A, ●…B ↓…話す相手 →…移動する方向



回転寿司の目的は、

スムーズに話ができるようになること。つまり流暢に話ができるようになることです。

また、みんなで一斉に話しますので、賑やかになります。これがとても良いのです。

恥ずかしがり屋の人は聞く人が話す相手だけなので、思いっきり話すことができます。

普段、声が小さい人は相手のために大きい声で話そうと努力します。

では、始める前にルールを決めましょう。私が手を挙げたら、それまで行っていたお話や作業をやめて、全員私を真似て手を挙げてください。全神経をリーダーの私に向けてください。お話を夢中になって、気がついていない人がいたら、周囲の人たちが促してください。」

W.L.：「さあ、2列になって向き合って座ってください。お互いに挨拶をどうぞ。ではこの列（一つの列を指し示し）の人たちは、Aさんです。もうひとつの列は、Bさんです。Aさんたちは、前に座っているBさんに、ひとつのテーマについて話します。」

*とって W.L. はテーマを与える。〈例：雨が好きな理由〉

W.L.：「これからAさんは、Bさんに、雨が好きな理由について3分間話してください。Bさんは、その話を興味深そうに聞いてください。大切なことは、話し手はAさんで、Bさんは聞き手です。Bさんは、その話に加わりたくても我慢して、相槌を打ったりうなずいたりする程度にとどめてください。Bさんの役目は、Aさんが気持ちよく話せる環境を作ることです。では、どうぞ。」

W.L.：「(3分後、手を挙げる。)では、話をやめてください。(みんなも手を挙げ、話をやめる。)お互いに、さよならを言ってください。ではみなさん、立って、右側の席に移動してください。隣に席がない人は前に移動してください。」

W.L.：「では、新しいパートナーと挨拶をしてください。Aさんは、Bさんに、先ほどの話を2分でします。Bさんは、新しい話を楽しみながら聞いてください。」

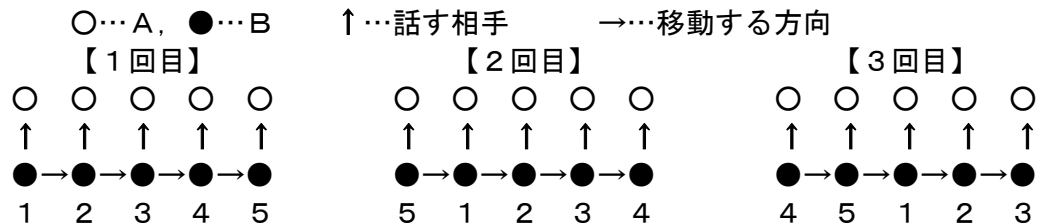
W.L.：「(2分後、手を挙げる。)では、話をやめてください。(みんなも手を挙げ、話をやめる。)お互いにさよならを言ってください。みなさん、立って右側の席に移動してください。隣に席がない人は前に移動してください。」

W.L.：「では、新しいパートナーと挨拶をしてください。Aさんは、Bさんに、先ほどの話を1分でします。Bさんは、更なる新しい話を期待して聞いてください。」

W.L. : 「(1分後、手を挙げる。)では、話をやめてください。(みんなも手を挙げ、話をやめる。)
Aさんたち、お疲れさまでした。」

このように話し手Aは、1回目は3分間、相手を変えて2回目は2分間、相手を変えて3回目は1分間で、同じテーマで話をする。このように、3分、2分、1分と段々と、話す時間が縮まってくるので、一番伝えたいメッセージを話の中に盛り込んでいくことができる。

W.L. : 「さあ、Bさんたち、お待たせしました。今度は、いよいよBさんたちの番です。」



W.L. : 「これからBさんは、Aさんに、雨が好きな理由について、3分間話してください。
Aさんは、その話を興味深そうに聞いてください。Aさんの役目は、Bさんが気持ちよく話せるようにすることです。では、どうぞ。」

W.L. : 「(3分後、手を挙げる。)では、話をやめてください。みんなも手を挙げ、話をやめる。
お互いにさよならを言ってください。では皆さん、立って右側の席に移動してください。
隣に席がない人は、前に移動してください。」

W.L. : 「では、新しいパートナーと挨拶をしてください。Bさんは、Aさんに、先ほどの話を
2分でします。Aさんは、新しい話を楽しみながら聞いてください。」

W.L. : 「(2分後、手を挙げる。)では、話をやめてください。(みんなも手を挙げ、話をやめる。)
お互いにさよならを言ってください。皆さん、立って右側の席に移動してください。
隣に席がない人は、前に移動してください。」

W.L. : 「では、新しいパートナーと挨拶をしてください。Bさんは、Aさんに、先ほどの話を1分
でします。Aさんは、更なる新しい話を期待して聞いてください。」

W.L. : 「(1分後、手を挙げる。)では、話をやめてください。(みんなも手を挙げ、話をやめる。)
Bさんたち、お疲れさまでした。」

W.L. : 「さあ、皆様、いかがでしたか？ 疲れましたか？ 喉がかわきましたか？ 今、体験した
3分、2分、1分の話ですが、何分が一番話しやすかったですか？
3分の人（と言って手を挙げさせる）？ 2分の人？ 1分の人？」

W.L. : 「今の体験についての皆さんの感想を一人一言ずつどうぞ。」

解 説

- * 参加人数が何人となっても、話し手と聞き手が居れば成立する。
- * 事前の準備はいらない。
- * 話を始める前に、リーダーに注意を向けるためのルールを決めることによって、次の場面展開に入りやすくなる。
- * テーマは身近な話題<例*秋ですなー。でも…>や思い出<例：夏の思い出、最近買ったお気に入りの品>等、その時のみんなが話しやすいテーマを選ぶ。
- * 話し方は上記のような「3・2・1」方式以外に、同じ時間（2分）で3回や、インタビュー方式（Aが質問し、Bが答える）も可能である。